

2015年度 京カレッジ 京都力養成コース プログラムの募集について

京都市と大学コンソーシアム京都とが連携して、大学の正規科目を一般市民（社会人）に開放する生涯学習講座「シティーカレッジ」を1997年に開設しました。2007年度には、より深い生涯学習の機会提供をめざして「京カレッジ」として改編を行い、その一環として、京都の地域活性化に貢献する人材を育成することを目的とする「特別コース」を開設。2009年度から「京都力養成コース」と名称変更して現在に至っています。

2014年度は8科目を提供し、総定員435名のところ422名もの出願がありました。定員以上の出願があったため、抽選が行われる科目があるなど京カレッジの中でも京都力養成コースは非常に人気のあるプログラム（科目）となっています。

2015年度においても、継続して「プログラム募集要項」のとおり科目の募集を行います。採択されたプログラムには、大学コンソーシアム京都から科目開設補助金を支給し、プログラムの円滑な運営をサポートいたします。

歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる、特色ある科目のご応募をお待ちしております。

『京都力養成コース』開講のメリット

京都地域で活躍する人材を育成するための入門科目（キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目）、もしくはPBL科目（フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目）の開設を京都市・大学コンソーシアム京都が補助します。

1. 京都力養成コースとして採択された科目に対しては、大学コンソーシアム京都から科目開設補助金を支給します。
2. キャンパスプラザ京都で開講する講座には、教室や機器等の施設使用料を大学コンソーシアム京都で負担します。
3. 受講生の募集は、京都市や大学コンソーシアム京都が行うため、市役所や区役所、市立図書館、キャンパスプラザ京都等で広報活動を行います。

※募集の内容は「2015年度京カレッジ京都力養成コースプログラム募集要項」でご確認ください。

主催：京都市・公益財団法人大学コンソーシアム京都

2015年度 京カレッジ 京都力養成コース プログラム募集要項

京都市及び大学コンソーシアム京都は、2015年度京カレッジ京都力養成コースのプログラムを下記により募集します。

記

■ 募集する科目

「京都活性化に資する人材を育成するための科目」を次の区分にて募集します。

区分①「入門科目」

- ・・・キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目。

区分②「PBL科目」

- ・・・フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目。

(PBLとは、学習者に実際のプロジェクトや擬似的なプロジェクトを体験させることにより、課題解決の手法や能力を修得させる授業手法です)

<2014年度開講実績>

キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目として、以下の科目が開講されています。科目の内容については「2014年度京カレッジ生募集ガイド」をご覧ください、講座開講の参考にしてください。

	大学名	科目・テーマ	種類	定員	出願者
1	放送大学	京の漬物と乳酸菌	一般	25名	62名
2	平安女学院大学	「表現力」を磨いて京都から新たな文化発信を 詩の合評会・朗読会・句会体験～出版から「イ ベント運営」まで	PBL	30名	15名
3	大谷大学	『平家物語』の京都	一般	30名	42名
4	京都外国語大学	京のまちなかミュージアム講座 ～まちづくり学芸員を目指す～	PBL	20名	12名
5	京都嵯峨芸術大学	京都の空間美、祭礼のしつらい美	一般	15名	45名
6	京都産業大学	京都伏見の歴史的位置 -多様な資料と手法によるアプローチ-	一般	30名	66名
7	龍谷大学	京の社(やしろ)	一般	20名	63名

■ プログラム実施期間

プログラムは2015年5月から2016年1月までの期間内に開講してください。

- 出願書類を大学コンソーシアム京都より各大学へ送付するのは2015年3月末日となるため、受講者の選考、結果通知等に要する時間を考慮のうえ、開講期を設定してください。

■ 採用講座数

10講座程度

■ 応募資格

本プログラムは、以下のいずれかを満たした団体にのみ応募することが可能です。

- ① 大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学
- ② 行政機関、民間機関（NPO/NGO 法人、業界団体など）
- ③ 大学コンソーシアム京都

<注意事項>

- ・①で応募の場合、採択は1大学あたり2件までとします。
- ・②で応募の場合は、①に該当する団体との連携を積極的に行ってください。
- ・同一内容での実施は原則3年間まで可としますが、なるべく新たな視点を加えてください。
- ・教員個人での応募はできませんので、大学の生涯学習機関等を窓口に応募してください。

■ プログラム内容の要件

本プログラムは、以下の要件をすべて満たす必要があります。

- ① フィールドワークもしくはPBL（Problem Based Learning）を主とし、実践体験を通じて学習を進めるプログラムであること。
- ② 入門科目は4コマ以上8コマ以下、PBL科目は9コマ以上15コマ以下で授業を実施すること。
- ③ 講座全体の受講定員はすべて京カレッジ生とすること。
- ④ 受講定員は授業運営に差支えないように設定すること。
- ⑤ 受講料は実費分等を徴収するなど安価に設定すること。

◆入門科目の実施例

- 1コマ目 … オリエンテーション・導入学習
- 2コマ目 … 基礎・基本学習
- 3コマ目 … フィールドワーク
- 4コマ目 … 連結学習

※連結学習はフィールドワークで得た知識について振り返りを行う。

- 5コマ目 … 学習のまとめ ⇒修了

※フィールドワークで受講定員が絞られる場合は、ワークを複数回に分けることも可能です。

◆PBL科目の実施例

- 1コマ目 … 課題解決のためのチームミーティング、PDCAサイクル表の完成
- 2～7コマ目 … プロジェクトへの参加①～⑥
- 8コマ目 … 課題成果の中間発表
- 9～14コマ目 … プロジェクトへの参加⑦～⑭
- 15コマ目 … 課題成果の発表、まとめ ⇒ 修了

※1日に複数コマを実施することも可能です。

■ プログラム審査基準

本プログラムの採否に際しては、京カレッジ企画検討会議において次の審査基準をもとに採用を決定します。

- ① 設定した目標を達成できる講座内容となっているか？
- ② 講座終了時に受講生が地域貢献へのモチベーションを持ちうる内容であるか？
- ③ 計画が具体的か？
- ④ 受講生が集まるような魅力的なテーマであるか？
- ⑤ 入門科目の場合、本プログラムの終了後、京都活性化のきっかけ作りに効果が見込まれるか？
- ⑥ PBL科目の場合、地域の教育力を活用するプログラムであり、本プログラム終了後、京都地域に貢献する人の育成が見込まれているか？
- ⑦ 個性豊かな特色のあるプログラムとなっているか？

■ 募集方法

本プログラム募集方法は、以下のとおりとします。

- ①「京カレッジに関する事務担当者会議」において、加盟大学・短期大学に募集開始と概要の説明を行い、応募を呼び掛けます。
- ②大学コンソーシアム京都のホームページ上に募集要項及び申請書を掲載し、公募します。
- ③その他、京都力養成コースの募集テーマに沿ったプログラムを提供できると判断した団体に対しては、個別に応募の要請を行います。

■ 提出書類・締切日

応募される団体は、所定の「申請書」に必要事項を記入の上、下記の応募先に郵送またはメールにてご提出ください。

なお、2014年度に開講された科目を再申請する場合も再度ご提出願います。

【提出締切日】2014年10月15日(水) 必着

■ 科目開設補助金及び経費免除

京カレッジ「京都力養成コース」として開講が決定した科目につきましては、科目開設補助金を支給するとともに、キャンパスプラザ京都で開講する科目については経費の免除を行います。

なお、税務処理の関係上、科目開設補助金は申請のあった団体へ支給します。

◆支給金額

以下の2点を合計した金額を支給いたします。

○プログラム開設コーディネート料（一律100,000円）

○講師謝金（33,411円 × コマ数）

※講師謝金の支給は入門科目8コマ、PBL科目15コマを上限とします。

◆経費免除

キャンパスプラザ京都で科目を開講する場合は、以下の経費を免除します。

○キャンパスプラザ京都における教室使用料

○機器、備品使用料（全額）

■ 採択決定までのスケジュール

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 7月11日(金) | 「京カレッジに関する事務担当者会議」にて公募告知 |
| 7月15日(火) | 財団ホームページ上に応募要項・申請書を掲載 |
| 10月15日(水) | 申請書の提出締め切り |
| 11月上旬(予定) | 京カレッジ企画検討会議にて審査・選考 |
| 11月中旬(予定) | 選考結果を申請団体に通知 |
| 11月下旬(予定) | 「京カレッジに関する事務担当者会議」にて採択科目を報告 |

【応募先・お問い合わせ先】

大学コンソーシアム京都 教育事業部 京カレッジ担当
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
TEL : 075-353-9140 FAX : 075-353-9121 E-mail : tg@consortium.or.jp
URL : <http://www.consortium.or.jp/>

以 上